

# 御牧の郷だより 第6号

発行 御牧ふれあいの郷づくり協議会

編集 広報部会

発行年月日 平成28年9月

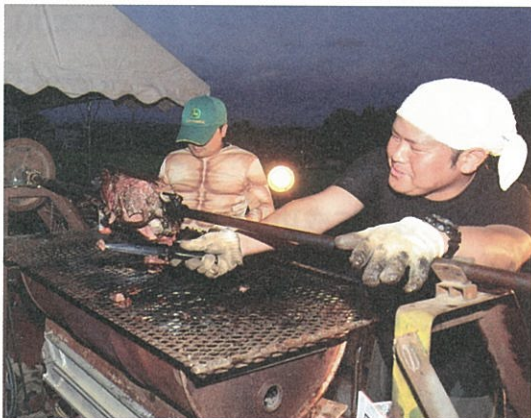
## 北御牧の夏まつり



子ども神輿 (みまきニュードカンコ)



信州御牧太鼓保存会 (みまきニュードカンコ)



回転焼肉 今年は麩科牛! (北部区)



ニュードカンコ音頭 (みまきニュードカンコ)



中学生が主催で(中八重原)



スイカ割り (北部区)



(みまきニュードカンコ)



ヨーヨーつり (北部区)

# 天空の芸術祭 2016

会期 10/1～10/31

10月1日より開催の「天空の芸術祭」、ただいま急ピッチで準備を進めています。白樺区の端にある旧稚蚕飼育所の跡地をご存知でしょうか。昭和43年まで使われていた建物と敷地を改修し、

**Sky Garden (スカイガーデン)** とします。芸術祭のメイン会場です。

Sky Garden を拠点に、芸術むら、八重原台地、御牧原台地でイベントを開催します。

## Sky Tours (スカイツアーズ)

芸術祭の各スポットをめぐるマップを作ります。サイクリングとウォーキングをしながら北御牧にある名所、景観スポット、歴史をめぐるります。御牧遍路？いえ、Mimaki Tours！



スカイガーデンの会場となる旧稚蚕飼育所跡地

## 池プロジェクト

八重原台地、御牧原台地には大小あわせて400以上のため池があります。本来の機能と環境を尊重しながら、ここで何かできないか。池に物語を与える？水面に映像を映す？などなど…9月にアイデアを募るワークショップをします。

## Sky AIR (スカイエアー)

国内外からアーティストを招き、滞在中に作品の制作や展示など。地域住民との交流もあります。



イメージ図 (スカイガーデン)

いま求められている“豊かさ”とは、どういうものなのでしょう。そして私たちは、これからどこに向かっていくのでしょうか。

地域づくり(地域おこし)に成功している現場では、必ずと言っていいほど「祭り」「音楽」「アート」があります。アートには、地域の一体感を高め地域に眠る創造力を解放する力があるからです。

この芸術祭もそんなきっかけになればいいと思います。

(天空の芸術祭実行委員会事務局 森 健太郎)

★ **地域サポーターを大募集中です！**  
詳しくはTel: 0268-67-3311(北御牧庁舎) 森/有賀まで

## 芸術むらにコミュニティカフェ準備中！

## カフェ&パン まる屋

昨年の「地域ビジョンづくりワークショップ」をきっかけに、北御牧でコミュニティの場所を作りたいとの思いを強くしてきました。今年の秋「カフェ&パン まる屋」のオープンをめざして、芸術むら公園旧管理棟を改装中です。

地域内外のコミュニティが広がり北御牧の良さを発信していくカフェを目標にしています。



芸術むら公園 旧管理棟



小林麻美 (芸術むら区)

(写真は、6/19のリノベーションワークショップの様子)

# 名立へ行ってきました

新潟県上越市名立区は、旧北御牧村時代から今も友好が継続されている地域です。今回、名立友好協会副会長の小林 政さん（北部区）に、夏に行われた2つのイベントのレポートをお願いしました。すてきな写真も小林さんの撮影です。

## ☆ とうもろこし1,000本持って…

7月17日（日）に「第16回うみてらす名立誕生祭」に参加してきました。現地到着時は雨が降っていましたが、青空もでて良い天気になりました。

そんな中、友好協会の会員（水科勝吉会長以下14名）の皆さんが参加し、恒例の「とうもろこし販売」を行いました。

「焼きもろこし」の試食では「大変甘い」と大好評で、2時過ぎには用意した1,000本が完売となりました。

また会場では、タヒチアンダンス、和太鼓演奏、抽選会が行われ大変盛り上がっていました。

まいど  
ありがとう  
ございます！



焼きとうもろこしの試食

## ☆ 花火大会バスツアー

7月31日（日）「北御牧・名立友好協会主催のバスツアー」が開催され、25名が参加してきました。

北御牧支所を10時に出発し、途中「上越市埋蔵文化財センター」や「上越市水族館」を見学。目的地の「うみてらす名立」には15時半に到着しました。上越の海も大勢の海水浴客が訪れ大賑わいでした。

買い物、散策、食事、お風呂等と楽しんだ後、20時から花火大会。名立の皆さんのご厚意により特別席から海ならではの迫力ある花火を観覧することができました。参加した皆さんも大変満足の様子でした。

北御牧支所には23時半に無事到着しました。



「うみてらす名立」からの夕景

この堤防の先で花火が上がりました

# 公募委員の紹介 (北御牧地域ビジョン作成委員会)

昨年ワークショップへ半年ほどでしたが参加しました。“きたみまき”への思いを、こうした場に参加して自ら地域の課題に対して微力ながらも貢献できればと考え、応募させていただきました。



青木豊英

昨年1年、地域ビジョンづくりのワークショップに関わってきました。完成するまではと、公募枠の最後の一人に滑り込みました。

子どもたちに残せる北御牧、子どもたちが誇れる北御牧になればいいと思っています。



大塚裕子

北御牧のこれからを考えるワークショップに参加し、地域をなんとかしようという熱い思いが共有できた。若者が住み続けたい、帰ってきたいと思える地域ビジョンができればと、委員に応募しました。



直井孝信

子どもたちと一緒に成長してきたこの北御牧をもっと知り、地域での暮らしを地域でサポートするために必要なこと出来ることを考えて、どのように発展して成長していくのか、構想や未来像をメンバーの皆様と共有してビジョンを探求したいと思っています。



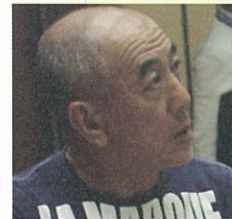
松田裕美子

北御牧に移住して1年半。住めば住むほど北御牧に魅了されています。また、昨年参加したワークショップでは皆さんの熱い思いに触れることができました。豊かな自然に恵まれた北御牧の暮らしがより楽しくなるように、みんなの思いが共有できるように微力ながら頑張りたいと思います。



宮秋智子

きっかけは  
たんに大好きな北御牧の  
みらいを  
まじ  
きあい入れて  
びりよくながらも  
じっくり  
よーく考えて  
んーと考えて  
さんざんダメだしされても  
くろうしても  
せっかくだから  
いいものにしたい  
…と思ったからです。  
がんばります！



小池 淳

きっかけは親として子どもに「やっぱり北御牧がいい！この地で暮らしたい！」と思えるようになってほしいという単純な考えです。委員会に参加して、思いはあっても形に残していく難しさを痛感しています。志の高い方々との出会いはとても刺激をいただき、悩みながらもワクワクしています。大好きな北御牧のこと、深く考えしっかり関わっていこうと思います。



唐澤 智

編集後記  
今号から紙面が変わりました。プロが作るようにはいきませんが、協議会の活動をできるだけわかりやすくお伝えできればと思っています。

広報部会